

経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 八百津町

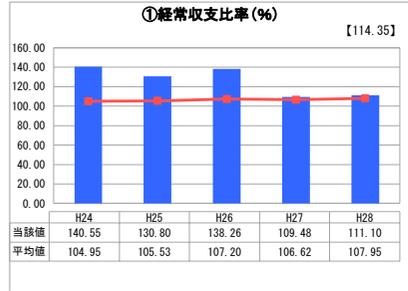
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	77.90	78.54	4,384	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
11,435	128.79	88.79
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
8,915	12.27	726.57

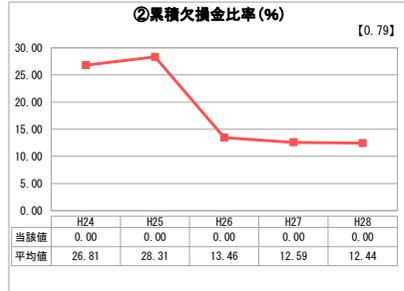
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

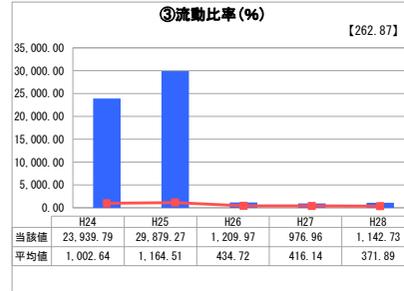
1. 経営の健全性・効率性



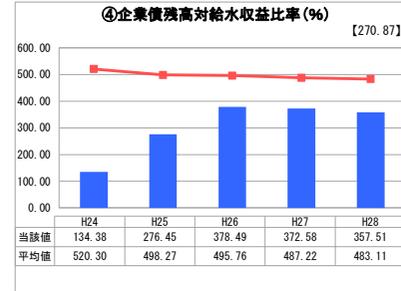
「経常損益」



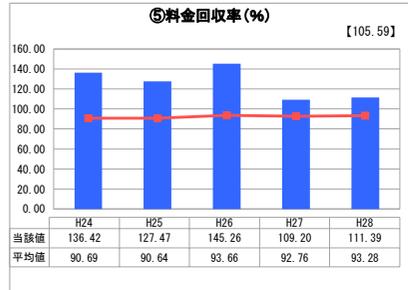
「累積欠損」



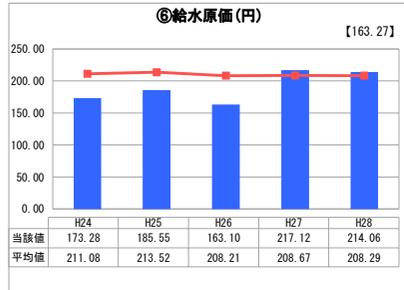
「支払能力」



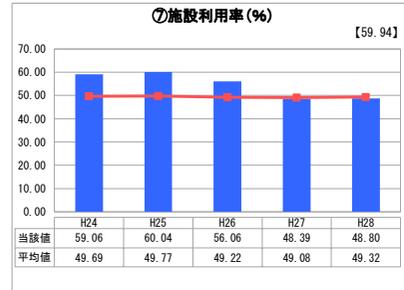
「債務残高」



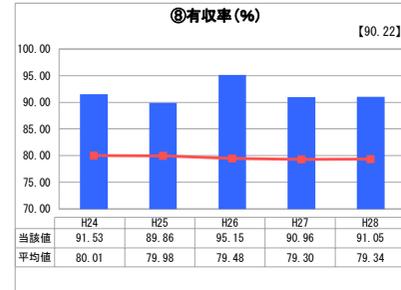
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

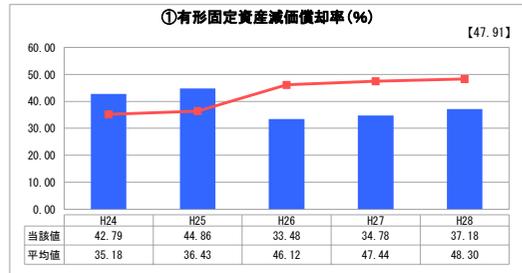


「施設の効率性」

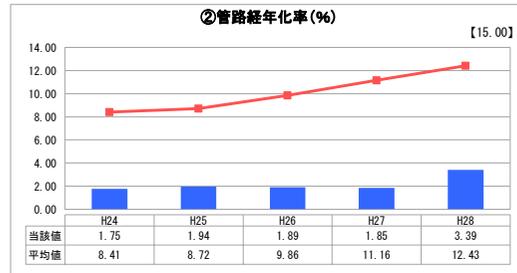


「供給した配水量の効率性」

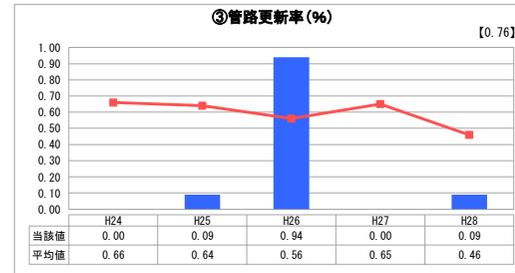
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度は、上飯田浄水場建設事業により遊休資産となった固定資産の除却を行い、固定費を圧縮し経営のスリム化を行いました。
平成29年度より簡易水道事業特別会計を水道事業会計に統合します。経常収支比率、料金回収率、給水原価の悪化が予測され、いずれの経営指標も一層厳しいものとなることと予想されます。そのため、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略（具体的には、現状分析と事業環境の見直しをもとに、「投資計画」「財政計画」を策定し、これらの計画が「収支均衡」し事業としての持続可能なものとなっているかをチェックするもの）」を策定しました。
この戦略のPDCAを定期的に行い、将来に渡り安定的サービスの提供に努めます。

2. 老朽化の状況について

平成26年度に浄水場の施設更新事業として、上飯田浄水場の供用を開始し、老朽化の著しい須賀浄水場の施設を廃止しました。
管路については、平成9年4月の下水道の供用開始に併せ、給水管・配水管の布設替工事を行ったことで法定耐用年数を超えるものは少ないです。これにより、老朽化の改善、漏水対策ともなり有収率の改善にもつながっています。
電気・機械設備についても毎年点検を行い、点検結果に基づき、計画的な修繕を行っています。しかしながら、今後は法定耐用年数を超える管路、電気・機械設備の増加が見込まれますので、財源の確保と計画的な更新工事が必要となります。

全体総括

平成29年度より簡易水道事業特別会計の水道事業会計に統合します。統合後は、経常収支比率、料金回収率、給水原価の悪化が予測され、いずれの経営指標も一層厳しいものとなることと予想されます。そのため、統合後の決算内容を把握し、再度「経営戦略」を策定します。
今後必要となる施設更新の財源を確保するために、財務分析や投資計画が重要な課題となるため、適正な料金設定を行い、将来に渡って安定的サービスの提供に努めます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。